

和暦表記で、かつ、実際の提出日を記載してください。

平成29年8月21日

(あて先)
公益財団法人新潟市産業振興財団理事長

申請者 住所 目5番1号
名 利 代表者印を忘れずに。 会社
代表者名 代表取締役 ●●●●●● 印

補助金交付申請書

(補助金の名称：平成29年度試作品チャレンジ補助金（下期）)

公益財団法人新潟市産業振興財団補助金交付要綱に基づく標記補助金の交付を受けたいので、要綱第6条の規定により、関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

記

1 補助事業の名称

～～を実現した●●の試作

別紙のとおり

別紙のとおり

交付決定額と、この下の補助対象経費の3分の2の額（本事業を利用したことがある場合2分の1の額）を比較して小さい額の方を記載してください。補助対象経費が30万円以上の場合、交付申請額は20万円です。

交付申請額 184,000円
補助対象経費 276,600円×2/3
補助限度額 200,000円

※交付申請額は千円未満の端数を切り捨てた金額

5 補助事業の着手(予定)年月日

平成29年8月21日

6 補助事業の完了(予定)年月日

平成30年2月28日

交付申請日 ≤ 着手年月日
完了年月日 ≤ 平成30年2月28日
となるよう記載ください。
特に問題がなければ、完了年月日は「平成30年2月28日」としてください。

公益財団法人新潟市産業振興財団補助金交付要綱及び標記補助金に係る募集要項が定める内容に全て同意します。

交付要綱第18条の規定に基づき補助金の全部又は一部の返還を命じられたときは、その補助金を返納することに同意します。

補助金交付決定となった場合、その間の経費が交付決定額を上限に、認められます。完了年月日を超えて事業を行うことになる場合、変更申請が必要になります。

平成29年度試作品製作補助金 事業計画書（別紙1）

■申請者の概要

企業名(屋号)				(役職)	
業種					人
主たる事業所の所在地・連絡先	住所	ここに記載の(例)はすべて一連のものになっていません 別のストーリーのものです			
	担当者情報	氏名等	(役職) (氏名)		
		TEL		FAX	
		Eメール			
補助対象要件	新潟市内に本社又は主たる事業所を有する中小事業者(みなし大企業は除く)である。			<input type="checkbox"/> はい	
	今年度中に本補助金と同様(予)定含む)を受けていない。			<input type="checkbox"/> いいえ	
			該当の方の四角を ■ あるいは <input checked="" type="checkbox"/> としてください	<input type="checkbox"/> はい	
				<input type="checkbox"/> いいえ	

■事業内容

1. 事業名(試作品名)(補助事業終了後に公表することがあります。)
2. 「1」の事業を取組むに至った経緯 ※本事業を実施する背景となった情報を記載してください。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 事業者の経営状態や自社の製品・商品の問題点などに触れながら、なぜ試作を行うことになったのか説明してください。(例) 自社の売上の4割を占めるアパレル用途の繊維が減少傾向のため、売上拡大のために産業用途の製品を試作したい。 </div>
3. 事業目的とそれを達成するための課題 ※詳細に記載してください。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 何を「試す」のか、その目的を説明し、それを達成するためにわかっている課題や懸念事項を示してください。 (例) 新素材を●●加工した試作品で、顧客である自動車メーカーが求める条件を満たすかどうか確認する。併せて、新素材は既存素材よりも20%高単価であり、既存よりも安くできる加工法を検討する。 </div>
4. 試作品の概要 ※イメージ図、画像があれば添付し、仕様、数量、対象顧客、想定価格、既存製品(商品)との違いなどを記載してください。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> どのようなものを試作するのかイメージできるよう、図や画像で示しつつ(あれば)、仕様等を記載ください。 </div>
5. 事業内容 ※目的を達成するための取組み、手段を詳細に記載してください。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 事業期間中に何を行うのか、具体的に説明してください。「6」のスケジュールと矛盾がないよう注意してください。 (例) 強度に課題がある薄さ●mの切削加工を施した試作をする。▲▲基準を満たすかどうかのA試験センターにて、性能確認を行う。その後、既存客B、Cに試用してもらいつつ、見込み客である大手D社に対して営業を行い、試用してもらう。それら結果のフィードバックを受けて、それを満たす試作を行う。 </div>

平成29年度試作品製作補助金 事業計画書（別紙1）

6. 実施スケジュール ※試作品製作・活用の予定を記載してください

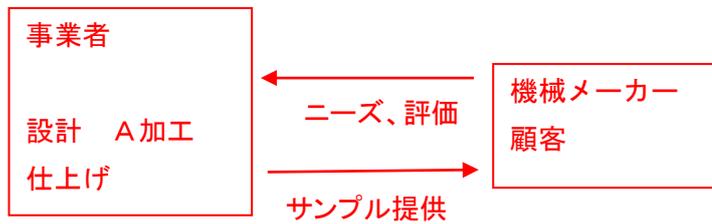
(事業期間中)	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
設計、原材料購入、自社加工	→						
××加工(外注)			→				
試作品の性能評価			→				
既存客、見込み客からの評価				→			
フィードバックを受けての再試作					→		

(事業期間終了後)

量産化に向けた準備、営業、販売促進など事業期間終了後に行う予定の活動を記載してください。

7. 実施体制 ※本事業における事業者内の体制を図示又は文章で記載ください。

(例)



8. 事業実施により期待される成果・事業終了後1年間の売上目標

量産化に向けた準備、営業、販売促進など事業期間終了後に行う予定の活動を記載してください。

※事業計画書は、添付資料を含めてA4サイズ3ページ以内に納めること。

